

工事情報共有システム 及び 遠隔臨場

令和3年度の試行結果



埼玉県マスコット「コバトン」

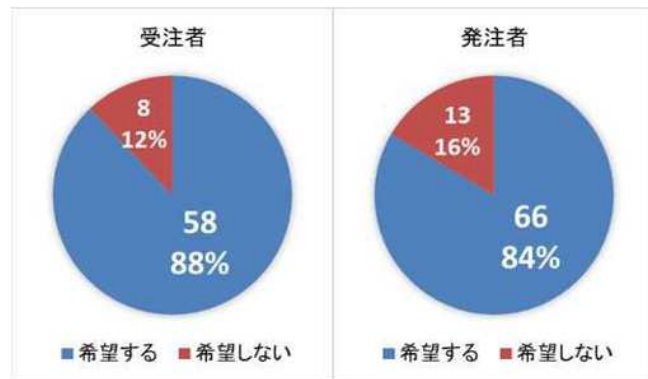
埼玉県建設管理課

工事情報共有システム（ASP方式）

- 令和3年度の試行結果（3月末時点、3月末までにシステムベンダーとの契約があったもの）
 県土整備部における60,000千円以上の工事で原則試行（実績 **309件**）
 60,000千円未満工事でも、受注者の希望があれば試行（実績 **45件**）
計354件
- フォローアップ（アンケート結果より）
 （効果）**受注者**：書類作成の効率化、書類提出の移動時間削減、発注者の決裁の効率化、紙の削減等で効果あり（利用希望 **88%**）（効率化した **78%**）
発注者：書類作成の効率化、紙の削減、文書管理の効率化、在宅勤務での対応が可能等で効果あり（利用希望 **84%**）（効率化した **62%**）
 （課題）**受注者**：電子に加え紙資料も作成してしまう、慣れが必要等（希望しない **12%**）（悪くなった **5%**）
発注者：操作性の問題、紙よりも書類確認に時間を要する、慣れが必要等（希望しない **16%**）（悪くなった **10%**）

アンケート結果

今後のシステム利用希望



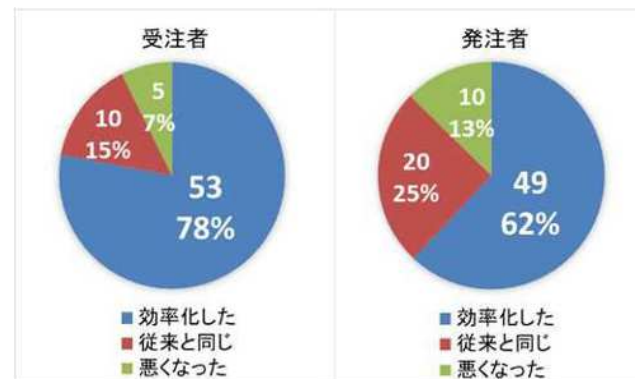
今後の利用希望

受注者は9割近く、
発注者は8割以上が、
今後の利用を希望。



課題を整理しつつ
拡大、本格導入

システム全体評価



全体評価

受注者は8割近く、
発注者は6割以上が、
効率化したと回答。

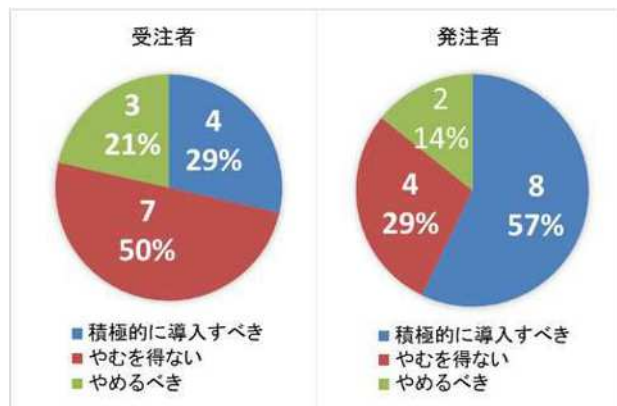
一方で、
悪くなったと回答した者は、
受発注者ともに1割前後。

遠隔臨場

1. 令和3年度の試行結果（3月末時点、3月末までにシステムベンダーとの契約があったもの）
- 発注者指定型：県土整備部において、工事情報共有システム対象工事のうち、各事務所3～4件（実績23件）
 受注者希望型：発注者指定型以外でも、受注者の希望があれば試行（実績20件） 計43件
2. フォローアップ（アンケート結果より）
- （効果）受注者：立ち合いに来てもらう必要がない等（積極導入すべき29%）（効率化した28%）
 発注者：現場への移動時間削減等（積極導入すべき57%）（効率化した60%）
- （課題）受注者：手間が増える、慣れが必要、サポートで増員が必要、受注者側のメリットを感じられない等（やめるべき21%）（作業が増えた43%）
 発注者：通信状況が悪い、現場状況の把握困難、映像で確認できない工種あり、技術力低下の不安等（やめるべき14%）（作業が増えた13%）

アンケート結果

今後の導入拡大



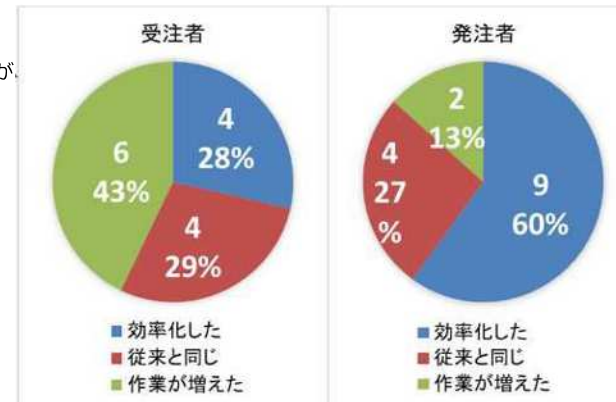
今後の導入拡大

・導入すべきとの回答は、
 発注者は5割を超えているが、
 受注者は3割以下。
 受発注者で乖離がある。

↓
 引き続き、課題整理
 改善が必要

↓
 試行の継続

遠隔臨場全体評価



全体評価

・発注者は6割が効率化したと回答、
 受注者は3割以下。

↓
 現場への移動時間削減など、
 発注者のメリットが大きい。

・受注者の4割以上が、
 作業が増えたと回答。

↓
 機器の操作、臨場に加え写真
 撮影が必要、不慣れなためリ
 ハーサルが必要等

令和3年度 埼玉県県土整備部情報共有システム(ASP方式)の利用に関するアンケート(結果)

アンケート実施期間 令和4年2月21日(月)～3月3日(木)
 回答者数(受注者) 70人
 回答者数(発注者) 79人
 システム利用実績(3月末時点、3月末までにベンダーとの契約があったもの) 工事情報共有システム 354件
 うち遠隔臨場 43件

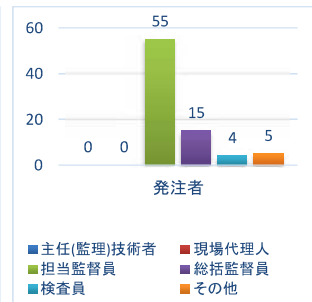
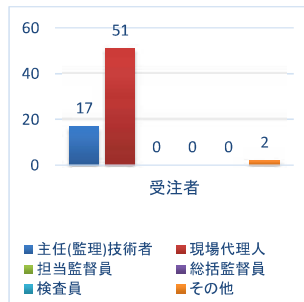
●記入者情報

受発注者(本工事における役職)：

項目	受注者	発注者
主任(監理)技術者	17	0
現場代理人	51	0
担当監督員	0	55
総括監督員	0	15
検査員	0	4
その他	2	5

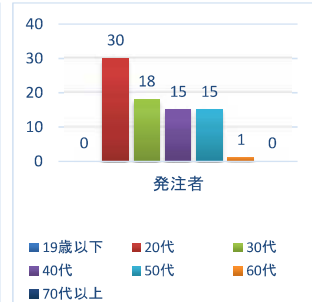
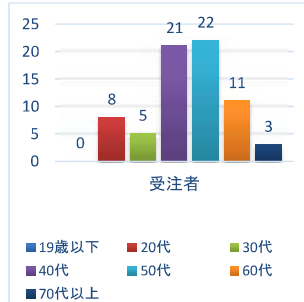
(その他)

担当技術者
 担当部長
 施工監理担当



年齢：

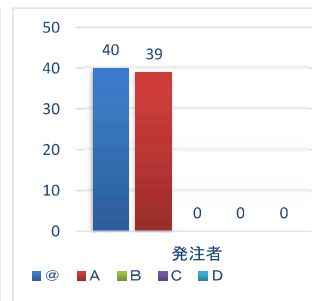
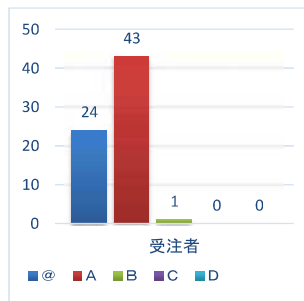
項目	受注者	発注者
19歳以下	0	0
20代	8	30
30代	5	18
40代	21	15
50代	22	15
60代	11	1
70代以上	3	0



●工事情報

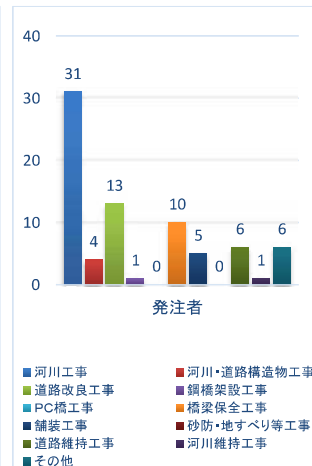
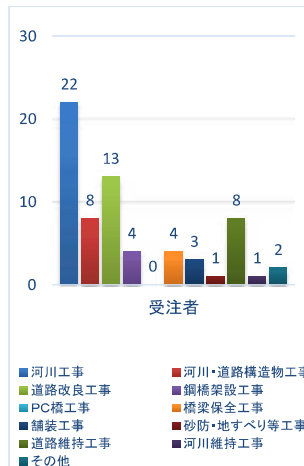
格付(土木)：

項目	受注者	発注者
@	24	40
A	43	39
B	1	0
C	0	0
D	0	0



工種区分：

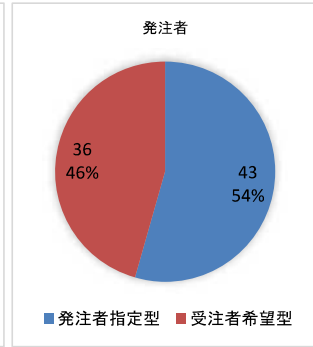
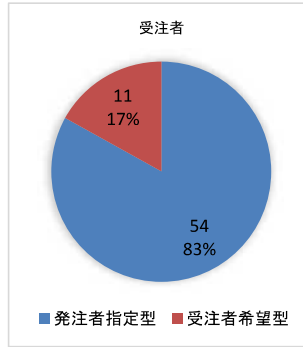
項目	受注者	発注者
河川工事	22	31
河川・道路構造物工事	8	4
道路改良工事	13	13
鋼橋架設工事	4	1
PC橋工事	0	0
橋梁保全工事	4	10
舗装工事	3	5
砂防・地すべり等工事	1	0
道路維持工事	8	6
河川維持工事	1	1
その他	2	6



●工事情報共有システム（ASP方式）について

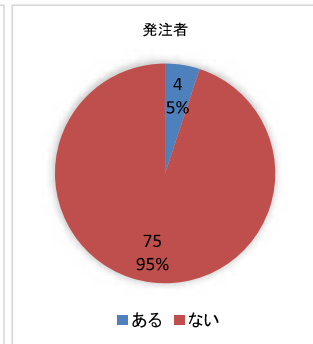
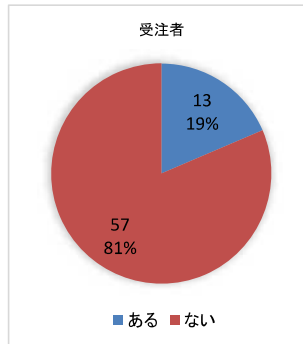
発注の型：

項目	受注者	発注者
発注者指定型	54	43
受注者希望型	11	36



他機関発注でのASP利用経験(下請、民間経験等含む)

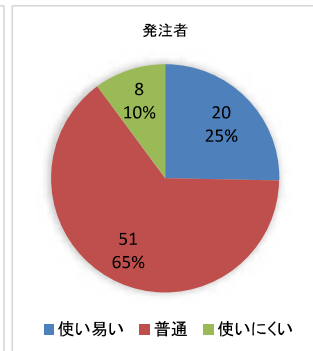
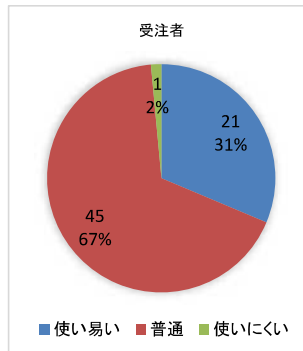
項目	受注者	発注者
ある	13	4
ない	57	75



●評価：

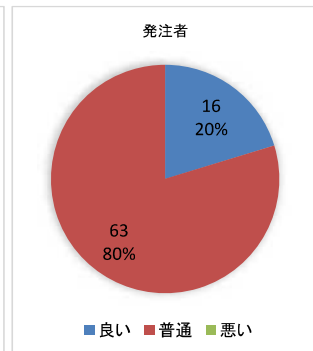
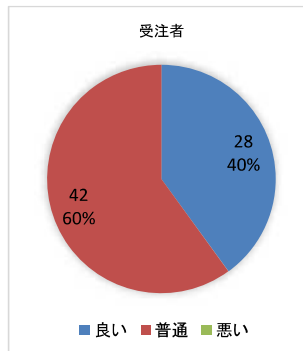
◆システムの使いやすさ

項目	受注者	発注者
使い易い	21	20
普通	45	51
使いにくい	1	8



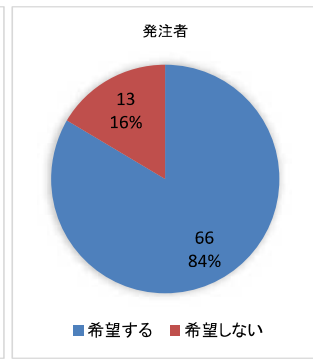
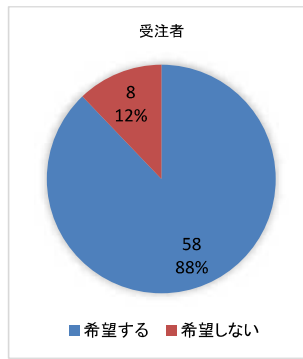
◆サポートセンターの対応

項目	受注者	発注者
良い	28	16
普通	42	63
悪い	0	0



◆今後の工事情報共有システム利用希望

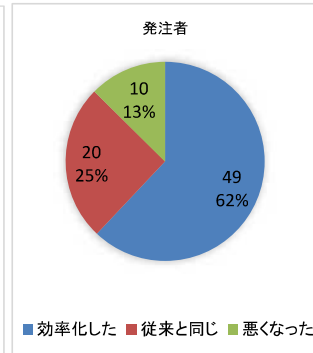
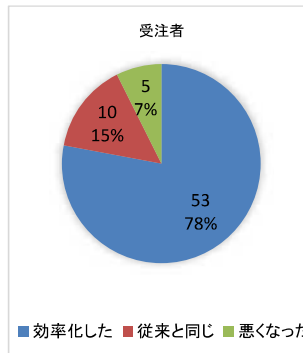
項目	受注者	発注者
希望する	58	66
希望しない	8	13



◆システム利用効果 <総合的評価と項目別評価>

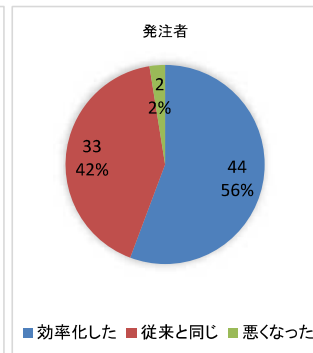
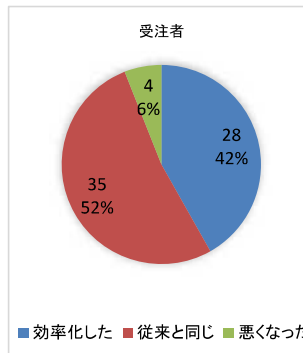
システム全体(総合的評価)

項目	受注者	発注者
効率化した	53	49
従来と同じ	10	20
悪くなった	5	10



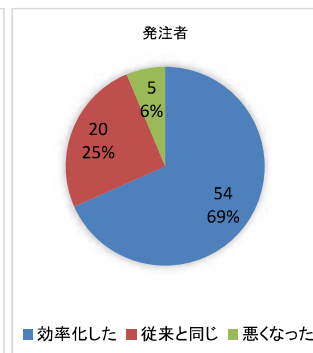
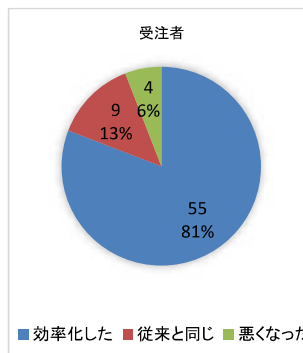
a 定型文書の作成

項目	受注者	発注者
効率化した	28	44
従来と同じ	35	33
悪くなった	4	2



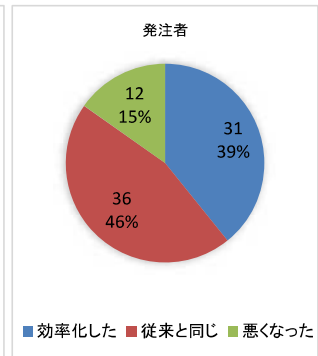
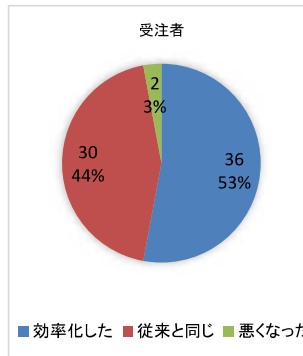
b 文書の提出

項目	受注者	発注者
効率化した	55	54
従来と同じ	9	20
悪くなった	4	5



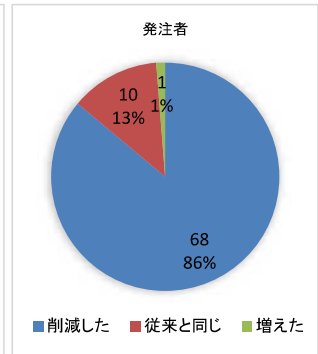
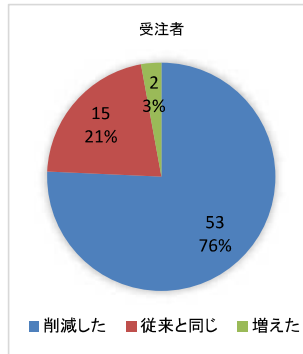
c 発注者の決裁

項目	受注者	発注者
効率化した	36	31
従来と同じ	30	36
悪くなった	2	12



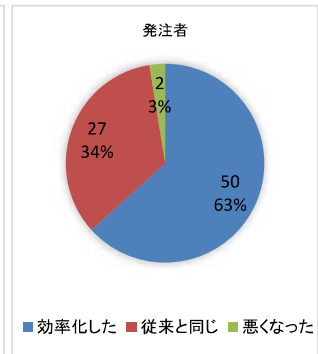
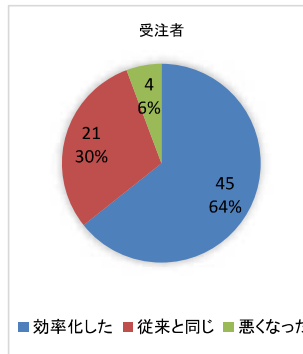
d 紙書類の削減

項目	受注者	発注者
削減した	53	68
従来と同じ	15	10
増えた	2	1



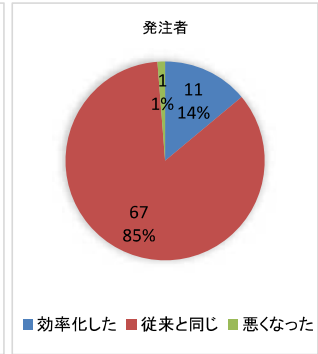
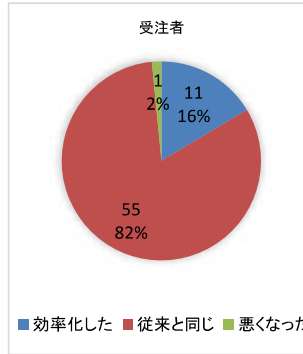
e 提出文書の管理

項目	受注者	発注者
効率化した	45	50
従来と同じ	21	27
悪くなった	4	2



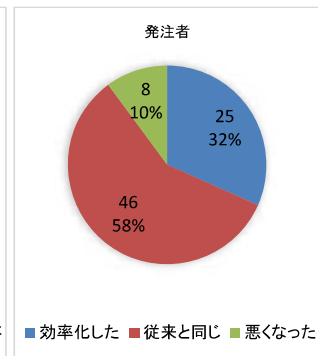
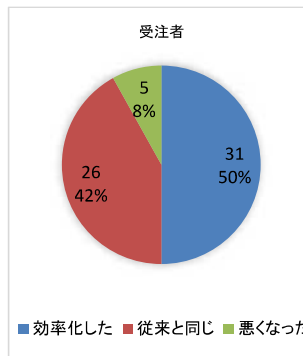
f 立会等の日程調整

項目	受注者	発注者
効率化した	11	11
従来と同じ	55	67
悪くなった	1	1



g 工事完成書類の作成

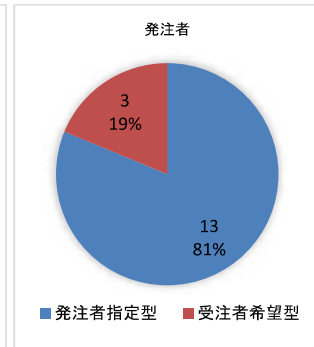
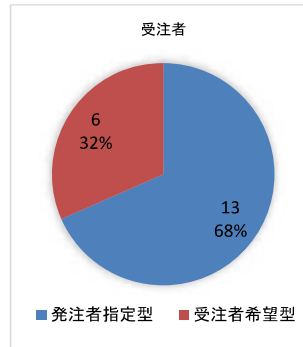
項目	受注者	発注者
効率化した	31	25
従来と同じ	26	46
悪くなった	5	8



遠隔臨場機能の利用に関するアンケート（結果）

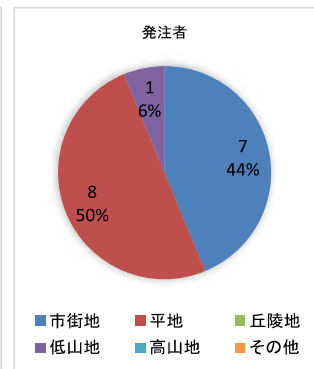
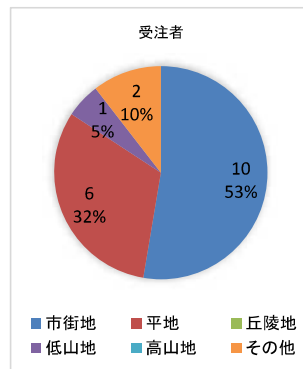
◆遠隔臨場利用：

項目	受注者	発注者
発注者指定型	13	13
受注者希望型	6	3



◆現場周辺環境：

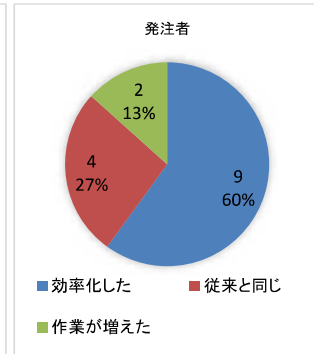
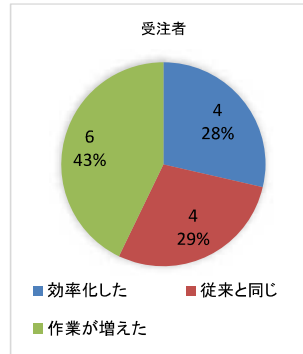
項目	受注者	発注者
市街地	10	7
平地	6	8
丘陵地	0	0
低山地	1	1
高山地	0	0
その他	2	0



◆システム利用効果

遠隔臨場全体（総合的評価）

項目	受注者	発注者
効率化した	4	9
従来と同じ	4	4
作業が増えた	6	2



今後の導入拡大

項目	受注者	発注者
積極的に導入すべき	4	8
やむを得ない	7	4
やめるべき	3	2

